

由岐句会

海鳴りの村木枯の中にあり  
霜柱踏めば硝子の音発す  
一湾の夕日背負いて冬に入る  
海鼠食み生涯消えぬ阿波訛  
岩礁をしまく波頭や鯽起し  
聞き飽きぬ里の民話や夜長の灯  
煮えすぎて箸を逃がる鯽大根  
すり足で進むりハビリ日脚伸ぶ  
龍の玉故郷の深き空の色

(片山 宇野代)  
(中川 秀司)  
(住谷 喜舟)  
(戎谷 久代)  
(戎谷 利公)  
(青山 文夫)  
(森本 富美子)  
(下町 昭)  
(森 淨子)

日和佐句会

六地藏欠けるもありて冬日向  
卒寿来てする事多し師走月  
高の瀬は錦織りなす秋の山  
GOTOに無縁の暮らし実南天  
図書館のしじまを破る咳ひとつ

(福井 咲希)  
(永井 雅代)  
(橋本 たかき)  
(本庄 潮乃)  
(白河 輝女)

時雨庵句会  
百選の島の絶景笹子鳴く  
初日の出阿波に昇りて土佐に落つ

(名田みや女)  
(勝瑞 高春)

投稿 (俳句)

師走朔日餉に赤飯のなごみけり  
活けて見るえのころ草の可愛くて

(岡本 真砂)  
(張野 浩子)

日和佐短歌会

あれこれと為すこと多き師走なり気ばかり焦りひと日短かく  
児らの声聞かなくなりし廃校に尊徳像は今も立ちいる  
病院のベッドより見る山頂に朝日輝き鳶一羽舞う  
人にコロナ鶏にインフル音もなく形も見えぬものにおびえる

(栗林 和子)  
(福井 郁子)  
(小延 恭弘)  
(本庄 たま子)

投稿 (短歌)

掃き寄せる落葉につまづきたら踏む  
まるごと受けることのまだある

(下町 昭)

町民文芸のコーナーに掲載を希望される場合は、政策推進課 (☎ 77 - 3616) まで連絡をお願いします。  
-----  
※原稿は前月の15日前後までに提出してください。

にぎやかそクイズ??

▶問題.....  
美波町に任用された地域おこし協力隊が、各受け入れ団体で、美波町の活性化に向け活動を行っています。さて、現在美波町では何人の地域おこし協力隊が活動しているのでしょうか？



▶応募方法.....  
答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名をご記入のうえ、葉書かメールでご応募ください。美波町役場（政策推進課）もしくは由岐支所にご持参いただいても結構です。正解者は、次号の「広報みなみ」に氏名を掲載させていただきます。締め切りは、1月20日(水)です。

▶応募先.....  
〒779-2395  
徳島県海部郡美波町奥河内字本村18番地1  
美波町役場政策推進課 広報担当  
E-mail : seisakusuishin@minami.i-tokushima.jp

12月号の答え「由岐漁業協同組合」  
正解者(敬称略)  
喜井礼子(西由岐)、福山仁美(阿南市)ほか